

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

令和元年7月2日

審査機関名 一般社団法人 日本能率協会

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	金属リサイクル工場における 工業炉の更新による省エネルギー事業
承認番号	KC1269
排出削減事業者名	株式会社ヤマイチプライメタル
排出削減共同実施事業者名	株式会社ウェイトボックス
事業実施場所	株式会社ヤマイチプライメタル 刈谷本社工場 (愛知県刈谷市一ツ木町大坪 116 番)
事業の概要	金属リサイクル工場におけるA重油工業炉を高効率な都市ガス工業炉に更新することによりエネルギー使用量を低減するとともに燃料転換による二酸化炭素削減を図る。
排出削減量の計画	3,508 tCO <sub>2</sub> /年 ・2012年度国内クレジット制度における計画：3,508 tCO <sub>2</sub> ・J-クレジット制度への移行手続きにより、2013年4月1日～2020年3月31日までで24,556 tCO <sub>2</sub> (2017年4月1日～2019年3月31日までで7,016 tCO <sub>2</sub> )
クレジット認証期間	・国内クレジット制度： 開始日 2012年4月1日 終了予定日 2013年3月31日 ・J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は以下に変更された。 終了予定日 2020年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 003 工業炉の更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2017年4月1日～2019年3月31日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	6,895 tCO <sub>2</sub> （2017年4月1日～2019年3月31日）
-------	---

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果、生じていることを確認した。 1) 対象期間中の設備稼働確認 本実績報告期間において高効率な都市ガス工業炉が導入されていること、及び、本実績報告期間において導入設備である都市ガス工業炉が稼働していることを、実績報告期間中の都市ガス使用量、及び生産量の記録により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 モニタリング期間中、承認排出削減方法論、及び、承認排出削減事業計画に従い、都市ガスメーター使用量、生産量のモニタリングが適切に実施されていることを都市ガス使用量の記録（日報）、生産実績の記録より確認した。また、その他モニタリング対象の係数等が正確に使用されていることを根拠資料とともに確認した。 2) 活動量の正確性 都市ガス使用実績、及び、生産実績の確認により、承認排出削減方法論、及び、承認排出削減事業計画通り、エネルギー使用量、生産量が実績報告期間中にわたり適切に把握され、正確に集計、適切に保存されていることを

	<p>確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等は、J-クレジット制度のモニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用) Ver.3.4 の確認より、方法論、承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 根拠資料との突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程、計算結果の確認により、排出削減量の算定方法及び算定結果は正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間がクレジット認証期間を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2017年4月1日から2019年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2020年3月31日を超えないことを確認している。</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

本実績報告期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点が無いことを確認した。

#### 6. 特記事項

本実績確認期間における排出削減量に相当する省エネルギー量は、原油換算で1,838.6k0であることを確認した。

以上